

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	症状が進行していく中で、一部の方しか外部交流がもてていない。	来訪者が多く、開かれた事業所をめざす。	行事などの際には、積極的に地域住民の方々の参加を募る様に取り組む。	1～12ヶ月
2	13	1部の職員しか外部研修に参加できていない。	職員には、さまざまな外部研修に参加できる様、事業所から勧める。	研修内容と開催日を掲示版に貼りだし、参加者を募る。	1～12ヶ月
3	47	認知の進行、高齢による体力の衰えに合わせた、薬の変更、減量に対する知識と認識について。	主治医や薬剤師から、薬に対する知識を吸収する。	薬に対する知識を吸収し、全職員に伝達できる様に、職員会議の内容に取り入れる。	1～12ヶ月
4		外部評価に対する認識について。	職員で外部評価に携わり、取り組める様にする。	自己評価項目を声に出し読み上げて、実施状況を職員でまとめる。	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。